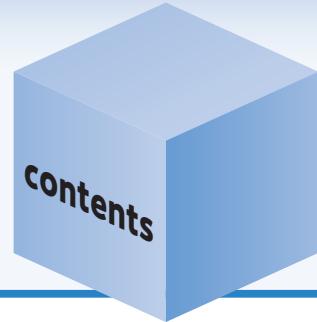


臨床に役立つ 消化管病理



はじめに ~拡大内視鏡時代の消化管病理 2

大腸編

第1章 マクロを読み切ろう ~肉眼写真でディテクティブ

- 1** マクロ形態診断学へようこそ 12
- 2** マクロお遍路 ~とことん肉眼写真を読み込もう ! 16

→札所一覧は p.9 参照

第2章 病理診断はルーペが9割 ~シェーマを使って主診断を終えろ

- 1** ルーペで筋板を読むのが極意 ~マクロ・ルーペ対比の基本 50
- 2** パワポばんざい ~ HE 染色のルーペ像でここまでわかる ! 54
- 3** ルーペお遍路 ~マクロとルーペをシェーマを使ってじっくり対比 57

→札所一覧は p.9 参照

第3章 隆起, 陥凹, 厚さ, 硬さの原因 ~弱拡大から強拡大へ

- 1** ミクロ分類の先へ ~管状病変の組織評価 118
- 2** 再定義は間近 ~鋸歯状病変の組織評価 138
- 3** Dr. DR ! ~浸潤部の線維化と診断 150

第4章 全力対比（大腸）

1 SM 浸潤の疑われる早期大腸癌の対比	156
症例① V _N 型pitははっきりしないが、SM浸潤癌だろうか？	156
2 LST病変の対比	164
症例② やや不均質で多彩な像を示すLST	164

胃編

第5章 役者が増えるよ胃の病理

1 胃は大陸からの侵略者 ~胃粘膜と腸粘膜の根本的な違いとは	182
2 登場人物紹介 ~胃粘膜の分化と多彩な腫瘍分類を整理しよう	186

第6章 胃のマクロは高難度

1 ビヨウリーを探せ ~多彩な腫瘍、多彩な背景	194
2 潰瘍どうでしょう ~消化性潰瘍合併による難しさ	201
3 クロールというかバサロ ~粘膜中層を進展する病変	208
4 秘技・平滑筋のこし ~胃の表在型類似進行癌	218

第7章 渾身対比（胃）

1 ピロリ菌除菌後胃癌の対比	228
症例① 除菌後4年。範囲はわかりやすいが非癌上皮の関与がある	228
症例② 除菌後3年。一部範囲がややわかりづらい場所がある	231
症例③ 除菌後3年半。癌だと思うけど…	234

2 ピロリ菌未感染胃腫瘍の対比	236
① 腺境界部に発生する印環細胞癌 (sig)	238
症例④ ピロリ菌未感染 ①腺境界部 sig の典型例	238
② 胃底腺粘膜のいずれかに分化した胃型腫瘍	240
症例⑤ ピロリ菌未感染 ②胃底腺粘膜のいずれかに分化した胃型腫瘍 A. ラズベリー型・胃腺窩上皮型腫瘍	241
症例⑥ ピロリ菌未感染 ②胃底腺粘膜のいずれかに分化した胃型腫瘍 B. 胃底腺型胃癌	244
症例⑦ ピロリ菌感染歴不明 ②胃底腺粘膜のいずれかに分化した胃型腫瘍 B. 胃底腺型胃癌	247
症例⑧ ピロリ菌除菌後 ②胃底腺粘膜のいずれかに分化した胃型腫瘍 C. 腺窩上皮と頸部粘液細胞への分化を示す胃型腺癌	254
症例⑨ ピロリ菌未感染 ②胃底腺粘膜のいずれかに分化した胃型腫瘍 D. 胃底腺粘膜型胃癌	259
④ 前庭部の腸型 or 胃腸混合型低異型度腫瘍	262
症例⑩ ピロリ菌未感染 ④前庭部の低異型度腫瘍 A. たこいぼ様低異型度癌	263
症例⑪ ピロリ菌未感染 ④前庭部の低異型度腫瘍 B. たこいぼ様？低異型度癌	266
症例⑫ ピロリ菌未感染 ④前庭部の低異型度腫瘍 C. 少しひきつれたたこいぼ様低異型度癌	268
おわりに	272
付録	274
● 胃癌の分類〔肉眼型分類、壁深達度（T）〕	
● 大腸癌の分類〔肉眼型分類、壁深達度（T）、pit pattern分類、JNET分類〕	
略語一覧	278
索引	279

●大腸マクロ・ルーペお遍路 札所一覧



札所	症例	マクロ	ルーペ像	拡大像
1	腸管狭窄を来すほど強く引きつれた2型進行癌	p.14	p.51	—
2	2型病変：床の崩落 典型例	p.16	p.57	—
3	狭窄の強い2型病変：陥凹内陥凹	p.17	p.58	—
4	2型病変：陥凹内陥凹	p.18	p.60	—
5	2型病変：陥凹内部もやや分葉	p.18	p.61	—
6	2型病変：陥凹内部はやや多彩	p.19	p.63	—
7	化学療法後の2型様病変	p.20	p.64	—
8	5型様病変：化学療法後	p.21	p.65	—
9	周堤の広い2型病変、LST-G由来の進行癌か	p.21	p.66	—
10	周堤が狭く陥凹が深い2型病変	p.22	p.67	—
11	盲腸が展開されておらず周堤の側面像が見える	p.23	p.68	—
12	潰瘍性大腸炎に合併した大腸癌	p.24	p.69	—
13	家族性大腸ポリポーラス症例	p.25	p.70	—
14	2型病変と0-IIa病変の衝突	p.26	p.71	—
15	虫垂の腫大する病態	p.26	p.72	—
16	2型病変：陥凹内部に粗大な汚い隆起	p.27	p.73	—
17	全周性の2型病変	p.28	p.74	—
18	陥凹内部がすべすべの2型病変	p.28	p.76	—
19	典型的な2型病変	p.29	p.77	—
20	狭窄の強い2型病変	p.30	p.78	—
21	典型的な2型病変	p.30	p.80	—
22	これは2型病変…？	p.31	p.81	—
23	ヒダ上の0-IIa+IIc病変	p.32	p.82	—
24	小型の0-IIa+IIc病変	p.33	p.86	—
25	陥凹面に星芒状の部分と円弧状の部分とがある0-IIa+IIc病変	p.34	p.87	—
26	0-IIa+IIs病変、隆起の性状が混在	p.34	p.88	—
27	大きさの異なる顆粒がみられる0-IIa病変	p.36	p.90	p.130
28	丈の高さにムラのある0-IIa病変	p.37	p.92	p.134
29	丈の高さにムラのある0-IIa病変	p.37	p.93	—
30	顆粒間にスキマのある0-IIa病変	p.38	p.95	p.121
31	病変境界が少しあわせににくい0-IIa病変	p.38	p.98	p.136
32	丈の高さや溝の入り方にムラがある0-IIa病変	p.39	p.99	p.131
33	わずかに中心に引きつれる0-IIa病変	p.39	p.100	p.133
34	中心部で丈の高さに違いがある0-IIa病変	p.40	p.101	—
35	病変内に領域性のある模様変化がある0-IIa病変	p.40	p.103	—
36	顆粒間にスキマのある0-IIa病変	p.41	p.104	—
37	粗大な隆起部を伴うように見える0-IIs(+IIa)病変	p.41	p.105	—
38	丈高の隆起内にも模様が残っている	p.42	p.106	—
39	開いたLST-Gと閉じた0-IIs病変	p.43	p.107	—
40	段差があるかないか、SMと関連するかしないか	p.44	p.108	p.124
41	大きさの異なる顆粒がみられる0-IIa病変	p.45	p.110	p.130
42	丈の高さにムラのある0-IIa病変	p.46	p.111	—
43	中心に向かって引きつれている0-IIa病変	p.47	p.112	—
44	丈の高さにちょっとだけムラのある0-IIa病変	p.47	p.114	—